

令和5年度 第8回

出水市教育委員会  
会議録

日 時 令和5年11月6日(月) 午後2時  
場 所 出水市役所 401会議室

出席者	
大久保 教育長	宮崎 教育部長
中村 委員	中原 教育総務課長
池袋 委員	田子山 学校教育課長
長島 委員	眞正 学校教育課指導監
宮本 委員	谷川 生涯学習課長
	別府 出水商業高等学校事務長
	川添 青年の家所長
	岡本 学校給食センター所長
	古川 教育総務課 課長補佐兼教育総務係長
	新垣 教育総務課 主任主査

### 議決事項

件名	提案理由	審議の状況	可否の別
議案第18号 出水市少年育成センター設置 規則の一部を改正する規則の 制定について	規則内の職員の立場を明確にする もの。	特記事項なし	可決

### その他

# 会 議 要 旨

## 1 開 会

## 2 会議録の承認

令和5年度第7回教育委員会会議録については、署名に代えて承認された。

## 3 教育長の報告

(教育長) 10月の主な行事としては、鹿児島国体の開会式、障害者スポーツ大会の開会式、両方に出席し、その他、出水市内で行われた各イベント、行事等に参加した。

また、九州都市教育長協議会の定期総会が沖縄であり、これに参加した。

県教育長協議会、教育長会と県教委との意見交換会が10月24日に鹿児島市で開かれ、これに参加した。

11月には人事異動に関する説明会等が開催予定であり、11月下旬には校長に次年度の人事異動に関する基本的な考え方や、その方法等について説明がある予定である。

〈各課長等から「教育委員会報告事項」に沿って、所管業務の報告〉

〈質疑〉

(長島委員) 学校教育課の行事に記載の10月21日開催、出水ライオンズクラブ争奪戦肥薩交流小学校一輪車競争大会については多くの参加をいただいた。準備、運営、片付けと一日大変だったかと思うが、子供たちの晴れやかな姿や、学校に対する愛校心、そして友情等も含めて、いろいろと育むことが出来たのではないかと思う。お礼とさせていただきたい。

(池袋委員) 教育総務課長から職員が1名増とのことだったが、どの課が増になったのか。

(教育総務課長) 教育総務課に1名増となった。

(池袋委員) 何か係が増えたから等ではなく、少なかったから補充されたのか。

(教育総務課長) ICTやパソコンの関係で業務が増え、その関係も配慮しての増だと考えている。

(池袋委員) 質問はこれで終わるが、10月、11月と本当に行事が多い中、小中学校の体育祭や運動会、文化祭、発表会等、先生方の御指導がかいま見られ、私たちは発表日の1日しか見られないが、それまでの過程を想像すると、ありがたい気持ちでいっぱいである。

#### 4 議事

##### 議案第18号 出水市少年育成センター設置規則の一部を改正する規則の制定について

— 規則内の職員の立場を明確にするもの —  
〈生涯学習課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(池袋委員) 経緯については分かったが、改正の必要性に気付くような案件が、何か最近あったのか。

(生涯学習課長) 特に何かあったわけではなく、規則を見ていた中で、職員の立場がはっきりしてない部分があったため、それをはっきりさせようとするものである。

(池袋委員) 理解した。

ホームページで設置規則全てを見たが、規則第3条の(2)に非行少年グループカードという記載があるが、これは一体どういうものなのか教えてほしい。また、この少年補導員というのは何人いて、どのような団体から任命されているのか教えていただきたい。

申し遅れたが、改正についての異議はない。

(生涯学習課長) この非行少年グループカードというのは、そのグループの加入者の一覧とか、どのような非行行為があったかというようなものを記録するカードである。ちなみに、今はそのような登録があるグループは全くない。

補導員について、今は補導員9名で、主に青少年育成推進協議会から推薦をいただいている。

(池袋委員) 任期が2年ということなので、2年に1回ぐらいは教育委員会が承認ということなので、任期の交代等で何かがあったりするのかな。

(教育長) 今の件は、この議案の決定に特に問題がないので、後ほど事務局に問合せで答えていただくという形でよろしいか。

(池袋委員) 承知した。

(議決)

(教育長) 異議がないので、議案第18号は原案のとおり可決することとする。

## 5 その他

### (1) 商業デパートについて

#### — ①開催日等について —

(池袋委員) 例年、日曜日の開催だったかと思うが、今回、土曜日に開催された理由をお聞かせいただきたい。

それから、生徒が生き活きと活動していたが、どの程度、生徒が運営に関わり、先生方の負担がどれくらいあるのかお伺いしたい。

また、今年は約2,000人の来場者があったとのことだったが、去年と比べてどうだったのか。

(出水商業高等学校事務長) 商業デパートについては、教員、生徒それぞれ実行委員会組織を作っており、教員の指導のもと教育の一環としてデパートの実施をしている。生徒の実行委員会は、1回目を6月25日に実施し、計4回の実行委員会を開いており、それに基づき、各学級でも店舗を持って販売している。そこを決めるために実行委員会を開き、趣旨等を話し合った後に、学級に下ろしてというように、幾度となく学級でも話し合いをしながら準備を進めている。

今回も色々な店舗を出店したが、今回はどら焼きの商品開発をし販売もした。柑橘類の販売については、収穫体験ということで、学習の時間を利用し、子供たちが実際に収穫したみかんを袋詰めし販売をした。

そういったものも今回は取り入れ、これまで積み上げてきた商業デパートの形を基にしながら運営や準備を進めていた。特に当日は、生徒が主となって積極的に関わりながら進めていたと思う。

2点目の開催日について、これまでは文化祭を金曜・土曜に行い、それが終わった後に商業デパートの準備をして、日曜日に商業デパートを実施していたが、いろいろと反省点などを踏まえながら、より充実したイベントにしていこうということで、今回、商業デパートを28日の土曜日に実施し、文化祭は来週11月9日、10日に実施予定となっている。

今回は分けた形で実施したが、来年度はどういった形で実施したほうがいいのか検証しながら、先生方、あるいは生徒が話し合いをした上で決めていくことになると思う。

次に3点目の来場者について、今回は約2,000人の来場者があったが、昨年は2,500人弱だったので、今回、土曜日開催だったことや、他にも理由があるかと思うが、昨年と比べるとちょっと少なかったようだ。しかし、土曜日開催ではあったが、結構にぎわったのではないかという先生の評価もあった。

(池袋委員) 土曜日は、他にも読書推進大会など、いろんなイベントと重なり人出が割れてしまっていた割にはすごく多かったと思う。日曜日のほうが集客としては見込みがあったのではと思ったが、いろいろ考慮された経緯は理解した。

— ②経費及び交通渋滞の対応について —

(宮本委員) 出水商業デパートについて、今日の新聞で売上金が約270万という記載があったが、その運営に関して聞いたところ、赤字という回答があった。実際、行ってみたら、各販売業者の委託販売のような形を見てとれたが、自分の小売業の感覚としてあの形式でやって経費が赤字になるのはあまり考えがたいので、どこにその経費が使われているのかお聞きしたい。

また、今回、約2,000人の来場があったということで、国道3号線の出入口が非常に渋滞をしていた。私が昼前に行ったとき、特に高尾野方面から右折で入ろうとする車と、会場から出ようとする車が非常に混雑しており、生徒や教員もいたが、地域のイベントをしたとき、交通渋滞に関しては警察の指導等があるので、国道3号線については予算を付けてプロの警備員の方を雇うことが出来ないのかお聞きしたい。

(出水商業高等学校事務長) 新聞に265万円の売上げがあったと掲載されていたが、商業高校においては生徒1人から1,000円ずつ出資していただき、それで準備を進めている。

そして、委託販売ということだが、それぞれの先生や生徒が販売に協力をしてくださる店舗にまずお願いをして、お願いできた店舗の中で、それぞれの商業高校生が、学級でも販売するので、そういったところを自分たちで決めて行く。決まった後は先生もしくは生徒から、その店舗と交渉をして、前日の準備、品物を受け取りに行くなど、店舗として準備をしている。

この売上げの中には、P T Aバザーの売上金、フードコート4店舗の売上げも入っている。それを差し引いて店舗で販売する品物代を支払うが、経理を見ると、赤字は今は出しておらず、少額ではあるが利益が出ている状況である。

それから、国道3号線の渋滞については、生徒や先生ではそういう交通整理はできないので、今後、検討していきたい。

(宮本委員) 販売している商品に関しては買取りをしているのか。

(出水商業高等学校事務長) 商品に関しては、返品のできないものの中にはあるので、基本的には買取りをしているが、今回は12時ぐらいにはほとんど無くなっていたかと思う。

(宮本委員) 出店する店舗については、生徒が決めているのか。

(出水商業高等学校事務長) 各学級で店舗を持って、生徒が販売をしている。中にテナントとして入った店があったが、そこについてはテナントのほうで販売している。

## (2) 部活動以外の大会出場助成について

### — 制度の周知について —

(宮本委員) 前回会議でもお尋ねしたが、出水市の生徒が部活動以外で九州・全国大会に行ったときの旅費助成について、学校側から全保護者に伝えるのは大変だと思う。しかし、部活動でなくても九州大会、全国大会に行けば、何らかの学校に報告があると思う。そのとき校長から保護者や指導者に、出水市には旅費助成があるが申請したか一言あれば、非常に保護者としても助かると思う。

できれば年初の校長会などで、連絡事項として出水市ではそういう旅費の助成制度があると校長先生の耳に入れてもらえないのか要望としてある。というのが、今までもう10何年ずっと全国・九州大会に輩出してる習い事の教室があるが、そこの指導者の方も全くその制度を知らなかったのも、是非、使いやすい制度にしていきたい。

(生涯学習課長) 前回の会議でも宮本委員から質問のあった件だが、制度の周知をもっと図るべきでないかということかと思う。このような形で校長先生等に言ってもらえるか、今後検討していきたいと思う。

(宮本委員) すごくいい制度なので是非お願いしたい。

(教育長) 校長が助成があると紹介をして、行ってみたら、それは要件に満たないので助成できないとかそういうことはないのか。

(生涯学習課長) やはり要件があるので、そこを含めたところで校長先生から言っていたか、生涯学習課に尋ねるように言ってもらえるか、それも合わせたところで検討できればと考えている。

(教育長) 要件を知らずにそういうことを言うと、必ず校長のほうに問合せがあり、校長はそれにきちんと答えられないと信頼を失うことになるので、そこははっきりさせておいたほうが良いと思う。

(生涯学習課長) 対応は生涯学習課でさせていただきたいと思う。

### (3) 青年の家のイベントについて

— 市と一丸になってPRできないか —

(宮本委員) 前回の青年の家での会議の後、上の階の天体望遠鏡を見学した。星空観察会などの紙のチラシを見るのと、実物を見るのでは全然違うというのを実感した。確かに何でもかんでもイベントの周知を学校にお願いすると、どうしても教員に負担をかけるというのはよく分かるが、青年の家に限らず、クレインパークの事業とか、親子フェスタなどに関しても、非常にいい取組だなあと思っている。

出水市の部とか課に限らず、例えば商工観光課にお願いするとか、地域おこし協力隊に依頼するとか、出水市一丸となって市外含めてPRするという仕組みづくりが出来ないのかなと思う。せっかくいい素材がいっぱいあるのに、なかなか周知が足りていない気がするので、是非、出水市一体となって広めていただきたい。

(青年の家所長) 先月も話をさせていただいたが、基本的に青年の家のイベントの広報としては、広報紙、ホームページ、防災行政無線、その他、市公式LINEによる通知、青年の家はインスタも始めたので、そこでの周知プラス学校へのチラシというような方法で対応している。

また、参加された方に、どういうもので情報を知ったかアンケートに書いてもらうのだが、圧倒的にチラシが多い。チラシで知ったというパターンが多いので、学校には負担をかけると思うが、そういうのを見ると、やはり学校へのチラシ配布は年に数回あるが、そこはお願いしたいと思っている。

それと、他の課とイベント等の周知が出来ないかという意見だが、年間を通してこういうものがあるというのは、確かにそういった形で、ただ数が多いので、どういった形で周知ができるのかなというのものもある。あと単発的なものについて



は、やはりそれぞれのイベントの時期があるので、なかなか同時にというのは難しいのかなと思っている。

そして、いろんな施設の紹介とか、そういったものもあるかと思うが、青年の家は、クレインパークとは違って、いつでもどうぞという施設ではないので、研修施設なので、10名以上の団体で研修をしたい、こういうのをしたい、可能かと事前に申請をして、研修の中身の打合せをして、それなら受入れるというような形での利用になる。そういった意味では、なかなか商工観光課や、全体的な紹介動画とかに、そんな簡単にどうぞというふうにはできないかなと思っている。

(宮本委員) すごくいい取組だと思うので、今後とも、皆さんに行き渡るように是非お願いしたい。

### (3) 県民週間について

— 防犯に関する具体的な指示について —

(宮本委員) 県民週間が明日までだが、前回会議の際に防犯体制についてお尋ねしたが、これに関して何か具体的な指示等をされたのか。

(学校教育課長) まず、学校に危機管理についての通知を出していること、それから管理職研修会において、直接、校長先生方に危機管理についての指示、全学校に指導を行っている。

(宮本委員) 承知した。最近、不審者情報のメールの頻度が多くなり、そういう世の中になってきているので、子供たちを守るために今後とも是非お願いしたい。

### (4) 教育事務点検評価会議について

— 項目はもう決まったか —

(中村委員) 教育総務課の予定表の11月21日に教育事務点検評価会議というのがあるが、今もう各課の項目を決めて、その案を作っている段階なのか。

そして、この会が終わった後、来月、教育委員会にそれがかかってくるのかどうかお尋ねしたい。

(教育総務課長) 現在、六つの課等から一つずつ点検項目を挙げている。これを外部の検討会議にかける前に、教育委員会内で六つのうち幾つを外部の会議にかけるか内部で検討する会議を来週予定している。

その後、21日の外部会議でかけ、12月の教育委員会会議で、外部の委員の

方々の意見や助言を踏まえたところで二次評価をしていただき、その後の12月の市議会で議員の議席にも配布する予定である。

なお、前回、池袋委員からその項目が決まったらという話があったので、教育委員会内部の会議で、外部評価委員にかける項目が決まったら、メールでお知らせしようと思っている。

### (3) 学校開放について

#### — 来校者等について —

(池袋委員) 今、ちょうど県民週間だが、学校開放ということで、平日に学校の様子を伺える期間だと認識している。

そこで、この目的とねらいをもう一度教えていただきたいのと、今年の各学校の来校者の人数など分かる範囲で教えていただきたい。いつも何人くらい、どんな方が来校されているのか。

また、どのような形で入校していただき、どのように対応されているのか。

この県民週間以外に、学校関係者以外の方が、学校を見学したい、様子を見たいという申し入れがあった場合、どのような形をとれば見れるのか、それとも見れないのか教えていただきたい。

(学校教育課長) 目的、ねらいについて、保護者、地域の方々に広く学校教育活動を公開し、行事等へも参加していただき、教育について一緒に考えていただくための機会とするものである。

昨年度は幼稚園、小・中学校、義務教育学校、商業高校を合わせて5,700人ほどの訪問があったと報告を受けている。

どのような方々が来校されたかについては、保護者、地域の方、それから外部の方、コミュニティースクールの方々、そういった方々が主に訪問されている。

それから、どのような形で学校内に入るかということだが、まず入口に名簿に記入するよう準備してあり、入校証を付けて訪問という形になる。そのときに職員が必ず対応をしており、私も何校も回ったが、必ず職員が出てきて、ここに記入してくださいと案内された。

学校見学については、基本的に毎回フリー参観になっている。ただ、学校によっては配慮が必要なときもある。テストをしているときなど、いろんな配慮もあるので、事前に電話等で学校に連絡していただければ、学校としては対応、回答

もしやすいと思う。

(池袋委員) 来校者が5,700人というのには、正直驚いた。なかなか行けずにいたり、そういう方が多いのかなと思っていたので、各学校、相当訪問があり、皆さん行かれているということが分かった。

また、学校ではそれぞれ職員の方が、入るとき対応されると思うが、誰か分からなかったりするからなのか、ここに入ってよかったのだろうかみたいな雰囲気のとときがある。もちろん仕事なので、そんなときもあるだろうが、入りやすいような雰囲気を作っていただき、子供たちにも挨拶をしっかりとやるよう言うのであれば、外部から来た方に、先生方からにっこりと一言挨拶をしていただければ、その学校の雰囲気もよりよく伝わるのではないかなと思う。

また、この期間を利用して、いろんな学校に赴いてまいりたいと思う。

## 6 閉 会